



THE JAPANESE SCHOOL in LONDON

# ロンドン日本人学校だより12

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく国際  
社会を生きぬく児童生徒の育成

合い言葉：自立・貢献

2021(令和3)年

月1日発行 ロンドン日本人学校  
令和3年度 第8号

## グローバル人材の育成 とは

校長 石山 秀樹

学校だより先月号の終盤に自分で書いた『グローバル人材(材)の育成』について、改めて調べ直してみました。

文部科学省・産学連携によるグローバル人材育成推進会議(2011)では、「世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間」と書かれています。

経済先進諸国からなり、世界的な学習到達度調査(PISA)も推進している OECD では、これからの社会で必要とされる力として次のように掲げています。DeSeCo プロジェクト(2005)では「1 相互作用的に道具(言語、技術など)を用いる, 2 多様な人々が存在する集団で交流する(良好な関係構築、協働、問題処理・解決), 3 自律的に活動する(大きな展望、実行、自分の権利・ニーズなどの表明)」と示し、さらに Education プログラム 2030 では、「私たちの社会を変革し、私たちの未来を作り上げていくためのコンピテンシー」として「新たな価値を創造する力, 対立やジレンマを克服する力, 責任ある行動をとる力」を掲げています。

もう一つ、世界共通の大学入学資格獲得プログラムとして始まり、「全人教育」を掲げる「国際バカロレア(以下、IB)」では、「理想の学習者像」として「・Inquirers 探究する人, ・Knowledgeable 知識のある人, ・Thinkers 考える人, ・Communicators コミュニケーションができる人, ・Principled 信念のある人, ・Open-minded 心を開く人, ・Caring 思いやりのある人, ・Risk-takers 挑戦する人, ・Balanced バランスのとれた人, ・Reflective 振り返りができる人」の10例を掲げています。

これまで校長面接などで聞いた生徒の「将来の希望」は、商社のビジネスマン、建築家、医者、はっきりと決まっていないなど、様々でした。彼ら彼女らが社会で活躍する10年後・20年後の世界の中は、私達が10年前・20年前に今日を予想できなかったこと以上に予測できません。しかし、はっきりしているのは、何処に居てどんな仕事をしていても、情報・エネルギー資源・環境・食料といった様々なモノ・コトを通じて、世界中の国々や地域、多様な文化を持つ人々との関わりを避けることはできないということです。そのような世の中で、社会としてはさきに挙げたような資質を持つ人物を求め、個人としてはそのような能力を備えることで、よりよい生きかたを追求するようになるでしょう。

学校としては、先に紹介したような様々な理想像を毎日の授業にまでどのように落とし込んでいくかが工夫のしどころとなっていきます。この点で私が最近、とても感心させられたのは、さる10月28日・29日両日にわたって行われた「北米・欧州校長研究協議会」でのパリ日本人学校の研究発表でした。詳しくは省かねばなりませんが、高度グローバル人材の育成を目指したこの研究では、授業で「わけそえ(わけ・理由を添えて話す)」を浸透させることから主体性・コミュニケーション能力・課題解決能力等の育成へとつなげる取組、IBの特徴的な探求学習の手法を取り入れた「グローバルスタディーズ」といった魅力的な内容の紹介がありました。

ロンドン日本人学校は、「国際社会を生きぬくために必要な力を身につける場」です。今、本校は平均的に高い学力を保持していますが、その教育内容の中で、伝統として受け継ぐべきはしっかりと継承し、これからの社会の変化に応じて変化させるべきところは柔軟に変革させていかねばなりません。コロナ禍を乗り越えつつある今、また新たなチャレンジをすべきときであると考えています。

## 積雪等緊急時の学校対応について

冬季は、積雪等のために臨時休校や授業開始時刻を変更する事態が想定されます。その場合、以下のよう  
に連絡いたします。御確認をお願いします。学校の  
公式ブログや Google Classroom のストリームでも  
お伝えします。

### 1 児童生徒の全家庭へ

午前 6 : 0 0 に、学校から「緊急一斉テキストメッ  
セージ」にて連絡します。返信は不要です。

### 2 通学バスを利用している児童生徒の家庭へ

学校から始発バス停連絡係に電話で連絡します。  
始発バス停連絡係は、バス緊急連絡網で連絡をお願  
いします。

※通学バス利用の御家庭には、緊急一斉テキストメ  
ッセージとバス緊急連絡網の 2 つの方法で連絡が  
入ります。お手数をおかけしますが、双方に御対応  
ください。

※メッセージ等の連絡がない場合は、平常通りです。  
登下校の安全には十分御注意ください。

## 令和4(2022)年度 主要年間行事予定

- ・ 1 学期転入学説明会 4 月 7 日(木)
- ・ 入学式 1 学期始業式 4 月 1 1 日(月)
- ・ 授業参観,懇談会  
4 月 2 0 日(水)・ 2 1 日(木)・ 2 2 日(金)
- ・ 一日自由参観 5 月 2 7 日(金)
- ・ 創立記念集会 6 月 1 6 日(木)
- ・ 運動会 7 月 9 日(土)
- ・ 1 学期終業式 7 月 2 0 日(水)
- ・ 2 学期始業式 8 月 2 4 日(水)
- ・ 写生大会 9 月 2 日(金)
- ・ 文化祭 保護者公開日 1 0 月 1 日(土)
- ・ 日曜参観日 1 0 月 3 0 日(日)
- ・ 2 学期終業式 1 2 月 2 3 日(金)
- ・ 3 学期始業式 1 月 6 日(金)
- ・ 卒業式 3 月 1 4 日(火)
- ・ 修了式 3 月 1 6 日(木)

### ロンドン日本人学校公式 Blog

ロンドン日本人学校の“今”を伝える  
公式 blog を御覧ください。



# NRT 学力検査について

本校では毎年、小学部1年生を除く全ての学年で、日本の教研式標準学力検査（NRT）を行っています。これは、児童生徒一人一人が自分自身の学力の状況をつかみ、これからの学力向上に役立てられるように、また、学校として客観的な学習の状況を把握し、教師が学習上の子供の特性の理解や指導力向上につなげることを目的として実施しています。例年は、前年度までに学んだ内容について4月に検査を実施しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、6月に実施いたしました。

個人の結果や学年ごとの概況や課題につきましては、Google Classroom の ストリームを通じて10月までに既にお知らせしてまいったところで。

全体の傾向としては、各表に示したとおり、コロナ禍の状況もありましたが各学年・各教科ともに優れた結果を挙げています。ただし、本校では転出入が大変多く、1年間で3~4割の児童生徒が入れ替わることで、平均値の母数となる児童生徒数は比較的小さいこと、あくまでも今年度6月時点での状況であることには注意が必要です。

結果の中には「観点別集計」という項目があり、各教科別に設定された観点でどの程度の学力があったかが示されます。ロンドン日本人学校ではこれまで、子供たちが活躍する、変化の激しい将来においても必要とされるであろう「学力」を、「考え、判断し、表現する力」、その土台となる「文章の力ー読解力」であると捉え、学校だより等でもお知らせしてきたところです。NRT 学力検査の国語には「書く能力」「読む能力」という観点があります。文章を正確に読み取り、目的に応じて正しく表現する力は、あらゆる思考のもととなる力です。今回は、この指数と各学年各教科の「思考・判断・表現」を観点とした指数を、表3・4として示しました。

御覧のとおり、これらの指数は大きく平均を超えている状況であることが分かりました。この確たる基礎学力を土台として、本校では引き続き、子供達が見通しのきかない時代を生き抜くための「考え、判断し、表現する力」等の力をつける取組を探ってまいります。

表1 小学部偏差値平均 (全国平均=50)

|    | 小2   | 小3   | 小4   | 小5   | 小6   |
|----|------|------|------|------|------|
| 国語 | 57.1 | 57.0 | 55.1 | 59.9 | 56.1 |
| 算数 | 57.0 | 55.4 | 55.0 | 58.6 | 57.2 |

表2 中学部偏差値平均 (全国平均=50)

|    | 中1   | 中2   | 中3   |
|----|------|------|------|
| 国語 | 60.0 | 60.9 | 58.3 |
| 社会 | 63.3 | 63.5 | 60.5 |
| 数学 | 60.2 | 63.8 | 62.3 |
| 理科 | 55.5 | 63.3 | 61.0 |
| 英語 |      | 69.8 | 68.2 |

表3 小学部学年別

「読み、書き、思考・判断・表現」指数

(全国平均=100)

|    | 書く能力 | 読む能力 | 思考・判断・表現 |     |
|----|------|------|----------|-----|
|    |      |      | 国語       | 算数  |
| 小2 | 116  | 121  | 121      | 128 |
| 小3 | 110  | 124  | 131      | 125 |
| 小4 | 121  | 116  | 125      | 123 |
| 小5 | 138  | 130  | 146      | 140 |
| 小6 | 119  | 118  | 119      | 142 |

表4 中学部学年別「読み、書き、思考・判断・表現」指数

(全国平均=100)

|    | 書く能力 | 読む能力 | 思考・判断・表現 |        |        |        |        |
|----|------|------|----------|--------|--------|--------|--------|
|    |      |      | 国語       | 社会     | 数学     | 理科     | 英語     |
| 中1 | 136  | 138  | 131      | 127    | 148    | 112    | *5     |
| 中2 | 123  | 137  | *5       | 158 *1 | 170 *2 | 141 *3 | 174 *4 |
| 中3 | 130  | 137  | *5       | 137 *1 | 158 *2 | 140 *3 | 164 *4 |

\*1:「社会的な思考・判断・表現」 \*2:「数学的な見方や考え方」 \*3:「科学的な思考・表現」 \*4:「外国語表現の能力」  
\*5:観点別指数集計無し